

(公財) 兵庫県まちづくり技術センター 中・長期戦略「Vision2035」【骨子】

【基本理念】 高度な技術力を有する公益財団法人として兵庫の社会基盤整備を総合的に支援します

Mission

～ 効率的な社会基盤の整備・管理、開発と文化財保存の調和を実現 ～

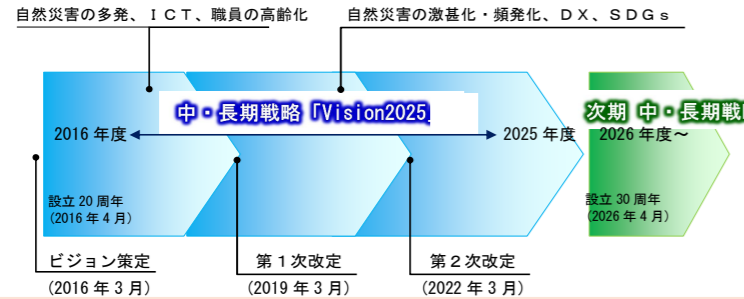
Vision2025 (計画期間：2016～2025)

■策定のねらい

社会基盤整備を巡る情勢の変化等に対応しつつ、センターに求められる役割(使命)の多様化・高度化に的確に対応していくため、設立20周年を契機に、概ね今後の10年間を見据えた中・長期戦略「Vision2025」を策定(2016年3月)

■策定後の取組経緯と次期戦略へ

頻発する自然災害、センター職員の高齢化、DXの加速等の情勢変化を踏まえ適宜見直し時流に応じた取り組みを展開



※第2次改定版

1 基本方針

『兵庫の技術力をリードする総合拠点』として、常に進化し続けるセンターをめざします

2 めざすべき方向性

- ①技術力の向上と改善に取り組むセンター
- ②自ら考え、行動し、提案型の事業を展開するセンター
- ③デジタル技術等の積極的活用により技術革新を先導するセンター

3 目標

【目標1】高度な技術力を支える人材の育成と確保

顧客ニーズに適切に対応するため、職員研修を体系的かつ計画的に行い、高い能力を備えた人材を育成します。また、職員の高齢化や退職等により業務遂行に支障がないよう、必要な人材を確保し、技術力の更なる向上と業務ノウハウを継承・進展させていきます。

【目標2】持続可能な成長を支える発展的な事業展開

県・市町が抱える課題に的確に対処するため「建設事業支援」「上下水道支援」「まちづくり支援」「埋蔵文化財調査」「技術者育成」の拠点機能を着実に充実・強化していきます。また、社会基盤整備を巡る情勢の変化に伴う県・市町の新たなニーズを迅速にとらえ、将来を見据えた新しい事業にも大学や民間とも連携して取り組みます。

【目標3】DX(デジタル・トランスフォーメーション)の推進による生産性向上

デジタル技術やデータを積極的に活用し、県・市町を支援するセンター業務の効率化・生産性向上を図ります。

4 目標の実現に向けた具体的取り組み

3つの目標を実現するため54事業に取り組みます。

5 事業収支の見通し

兵庫の社会基盤整備を推進する上で、無くてはならない組織として進化し続け、発展的な事業展開により黒字基調を継続し、公益財団法人として健全な経営を堅持します。

【外部環境】高まる社会的要請

●社会情勢の変化

- ✓人口減少とそれに伴う担い手不足の深刻化
～危機的な技術職員の不足～
- ✓インフラ老朽化リスクの顕在化
～大規模新設事業から老朽化対策へのシフト～
- ✓地震・気候変動による災害リスクの増大
- ✓技術革新の急速な進展

●県・市町の課題とセンターに対するニーズ

- ✓人材育成・技術継承
- ✓建設事業支援(土木・建築・設備)
- ✓インフラ老朽化対策
- ✓上下水道支援
- ✓まちづくり支援
- ✓埋蔵文化財調査
- ✓DXの活用に関する連携強化
- ✓センターの役割(行政の立場を理解して支援してくれる信頼できるパートナーであり続けることを期待)

継続・発展

【内部環境】センターの課題(内部環境と変革の必要性)

●職員の減少・高齢化と技術力の継承

- ✓深刻な職員数の減少と高齢化 ※2025年4月現在
・長年の採用停止により固有技術職員の平均年齢は53歳に
・5年後(2030年)には60歳以下の職員数が現在の約7割に、
10年後(2035年)には約3割に減少の見込み
- ✓ベテラン職員の専門知識や現場経験など技術力の継承

●多様化するニーズへの対応と生産性の向上

- ✓土木構造物や建築・設備等の老朽化対策に伴う補修・更新など、より多様できめ細やかなニーズへの対応
- ✓技術力を裏付ける資格取得の推進
- ✓DXを推進できる人材の育成

●安定的で透明性の高い財務運営

- ✓県・市町の予算、業務量等の影響の軽減、公益・収益事業の財務バランスの確保による持続可能な社会基盤整備への貢献
- ✓ガバナンスの強化や透明性の確保・改善への取り組み

Vision2035 (計画期間：2026～2035)

■策定のねらい

社会情勢の変化や県・市町の課題とニーズに適時的確に対応するため、これまでの取組みを継続・発展させるとともに、高度な技術力を有する公益財団法人として、県・市町の信頼と期待に一層応えていくため、設立30周年を機に、今後10年間、センターがめざすべき将来像を実現するための「未来を切り拓く羅針盤」として中・長期戦略「Vision2035」を策定(2026年3月) 5年毎を基本に見直しを行うと共に、定期的なフォローアップ等を行います。

1 基本方針 Policy

一人ひとりが主役 信頼で結ばれた兵庫のベストパートナーをめざします

2 めざすべき将来像『4つのビジョン』 Vision

- (1)100年先へ続く「確かな技術力」で兵庫の活力を支える
中立・公正な立場から、長期的視点で質の高い事業を実施し、兵庫の技術力の「総合拠点」としてインフラ整備を確実に支えます。
- (2)「安全・安心を次世代へ 歴史を未来へ」持続可能な社会への挑戦
インフラの長寿命化と歴史・文化の保全を通じて、安全・安心な社会基盤を次世代へ確実につなぎます。
- (3)「共に学び 共に育つ」次世代を担う技術者の伴走
公益財団法人として業界全体の発展を見据え、県・市町と共に次世代技術者を育成し、インフラに関する技術を確実に継承します。
- (4)積み重ねた経験と技術を力に 多様な挑戦でわくわくする仕事を自らの手で!
現場で培った技術と実績を誇りとし、働きがいや、やりがいのある職場環境と挑戦する風土を育み、職員の成長と組織力の向上を両立します。

3 ビジョンの達成に向けた『3つの戦略』 Strategy

(1)事業戦略
3つの視点で、センターの5つの事業体系ごとに、高まる社会的要請や多様なニーズに応えるための取組方針を示します。

＜3つの視点＞

- ✓「新しい風」技術者の育成・確保
- ✓「新しい波」ニーズに応える事業展開
- ✓DXによる生産性向上



(2)人材戦略

「Vision2035」の着実な推進を図っていくためには、多岐に渡る支援事業に責任を持って対応できる執行体制の整備と人材の確保・育成が不可欠です。このため、6つの戦略に取り組みます。

- ✓固有職員の新規採用
- ✓多様な人材の確保・連携 ～県・市町派遣職員と県・市町等OB職員の確保～
- ✓センター職員の技術力向上とノウハウの継承・進展
- ✓人材バンク機能の活用・拡充
- ✓多様な連携による体制の構築
- ✓広報マインドの醸成 ～職員一人ひとりが広報を担う～

(3)財務戦略

将来にわたり公益事業を持続的に実施できるよう、設計・積算・工事監理業務を始めとする収益事業については、確かな収益基盤を維持しつつ、県・市町の課題・ニーズを的確に捉えた事業を展開します。公益事業、収益事業の両事業を組み合わせることにより、安定的かつ透明性の高い財務運営を行います。

- ✓公益事業と収益事業の組み合わせによる安定した財務運営
- ✓ガバナンスの強化と透明性の確保
- ✓今後の事業量と財務基盤

4 職員一人ひとりが実践すべき『7つの行動指針』 Value

- | | | | |
|--------|--------------|-----------|-------------|
| (1) 信頼 | 期待に応える誠実さ | (5) 安全・公正 | 社会的責任を果たす |
| (2) 技術 | 確かな品質を支える専門性 | (6) 連携 | 対話と共創を大切に |
| (3) 挑戦 | 変化を価値に変える | (7) 人・組織 | 人を活かし共に成長する |
| (4) 継承 | 次世代につなぐ責務 | | |

参考資料

- ✓これまでの取り組み
- ✓【事業実施計画】事業戦略と人材戦略の具体的取り組み



存在意義 (Mission)

基本理念

高度な技術力を有する公益財団法人として兵庫の社会基盤整備を総合的に支援します
 ～ 効率的な社会基盤の整備・管理、開発と文化財保存の調和を実現 ～

基本理念の実現に向けた基本的な方向性 (Policy)

基本方針

一人ひとりが主役 信頼で結ばれた兵庫のベストパートナーをめざします

4つのビジョン (Vision)

めざすべき将来像

Vision

1

100年先へ続く「確かな技術力」で兵庫の活力を支える

中立・公正な立場から、長期的視点で質の高い事業を実施し、兵庫の技術力の「総合拠点」としてインフラ整備を確実に支えます。

Vision

2

「安全・安心を次世代へ 歴史を未来へ」持続可能な社会への挑戦

インフラの長寿命化と歴史・文化の保全を通じて安全・安心な社会基盤を次世代へ確実につなぎます。

Vision

3

「共に学び 共に育つ」次世代を担う技術者の伴走

公益財団法人として業界全体の発展を見据え、県・市町と共に次世代技術者を育成し、インフラに関する技術を確実に継承します。

Vision

4

積み重ねた経験と技術を力に 多様な挑戦でわくわくする仕事を自らの手で！

現場で培った技術と実績を誇りとし、働きがいや、やりがいのある職場環境と挑戦する風土を育み、職員の成長と組織力の向上を両立します。

3つの戦略 (Strategy)

ビジョンの達成に向けた戦略

戦略

1

事業戦略

3つの視点で、センターの5つの事業体系ごとに、高まる社会的要請や多様なニーズに応えるための取組方針を示します。

- ① “新しい風” 技術者の育成・確保
- ② “新しい波” ニーズに応える事業展開
- ③ DXによる生産性向上

戦略

2

人材戦略

多岐にわたる支援事業に責任を持って対応できる執行体制の整備と人材の確保・育成を図るための取組方針を示します。

- ① 固有職員の新規採用
- ② 多様な人材の確保・連携
- ③ 職員の技術力向上とノウハウの継承・進展
- ④ 人材バンク機能の活用・拡充
- ⑤ 多様な連携による体制の構築
- ⑥ 広報マインドの醸成

戦略

3

財務戦略

公益事業、収益事業の両事業を組み合わせることにより、安定かつ透明性の高い財務運営を図るための取組方針を示します。

- ① 公益事業と収益事業の組み合わせによる安定した財務運営
- ② ガバナンスの強化と透明性の確保
- ③ 今後の事業量の財務基盤

7つの行動指針 (Value)

職員一人ひとりが実践すべき行動指針

行動指針

1

〔信頼〕 期待に応える誠実さ

センターの仕事の原点は「信頼」です。一つひとつの業務を確実に遂行し、相手の立場を理解した丁寧な説明や対応を行うことが、県・市町・県民との信頼関係を築きます。

行動指針

2

〔技術〕 確かな品質を支える専門性

センターの価値の源泉は「技術力」です。華やかな先進技術だけでなく、基礎的な技術の重要性を再認識し、専門性を磨き続ける姿勢が将来の社会基盤づくりを支えます。

行動指針

3

〔挑戦〕 変化を価値に変える

社会や行政ニーズは常に変化しています。前例にとらわれず、より良い方法を考え、挑戦する姿勢が新たな価値を生み出します。

行動指針

4

〔継承〕 次世代につなぐ責務

歴史・文化・技術を次世代へ引き継ぐ責務があります。長期的な視点で持続可能な地域づくりに貢献します。

行動指針

5

〔安全・公正〕 社会的責任を果たす

公益財団法人として、社会の信頼を損なわない行動が求められます。安全・法令遵守・情報管理・事故・災害に対する日常的な意識はすべての業務の前提です。

行動指針

6

〔連携〕 対話と共創を大切に

センターの業務は支援活動であり、特に対話と共創が欠かせないものとなります。日頃から対話と共創を大切にし、相互理解のもとで円滑に業務を遂行します。

行動指針

7

〔人・組織〕 人を活かし共に成長する

人材がセンターの最大の資産です。多様な価値観を尊重し、お互いに支え合いながら成長する組織文化を育てます。